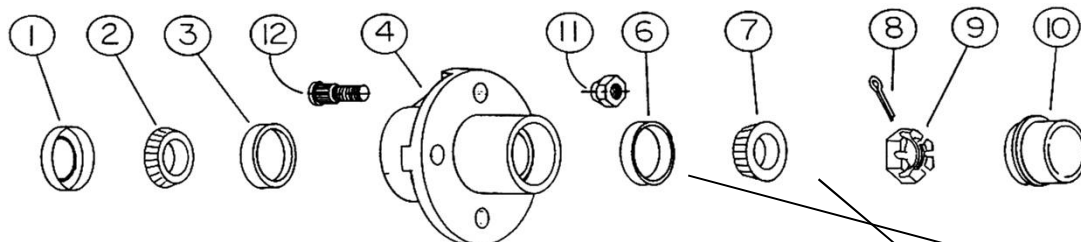


ホイールハブ

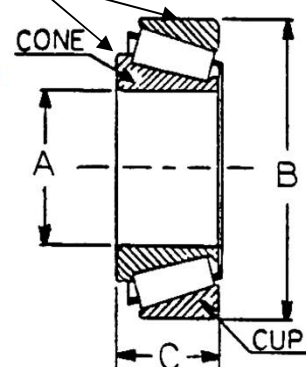
	ハブの構造	点検ポイント	サイズ/詳細	製造品番
①	オイルシール (グリースシール)	ゴムの亀裂、劣化、	1.06"	-
②	インナーベアリング (ベアリングコーン)	錆、ローラーのガタ付	1.06" ストレート	L44649
③	ベアリングカラ- (ベアリングカップ)	錆、傷	1.98"	L44610
④	ホイールハブ (BANDIT OUTLAW)	錆、傷、亀裂	CAPACITY 1350#	BT150A
⑥	ベアリングカラ- (ベアリングカップ)	錆、傷	1.98"	L44610
⑦	アウターベアリング (ベアリングコーン)	錆、ローラーのガタ付	1.06" ストレート	L44649
⑧	コッターピン	錆、傷、亀裂	全長74mm	-
⑨	アクスルナット	錆、傷、亀裂	レンチサイズ 38mm	-
⑩	ダストキャップ (ベアリングプロテクター)	錆、亀裂、ガタ付	1.980"	-
⑪	ログナット (ログボルト)	錆、傷、ねじ山の損傷	13/16"	21 (mm)
⑫	ホイールスタッド	錆、傷、ねじ山の損傷	-	-

ロードライトトレーラーは、ログボルトが標準仕様です。



分解・組立

- ① タイヤを地面から離します (トレーラーをジャッキアップ...車軸下)
- ② タイヤを外します
- ③ ダストキャップを鋭利なもので抉り外します
- ④ 脱落防止のコッターピンを外します
- ⑥ 38mmのレンチでアクスルナットを外します
- ⑦ ハズが外れます
- ⑧ ベアリング・カラ-・オイルシールを外し、点検します
- ⑨ 上記の順で組み付けます (ベアリンググリス充填しながら)
- ⑩ アクスルナットの締付調整

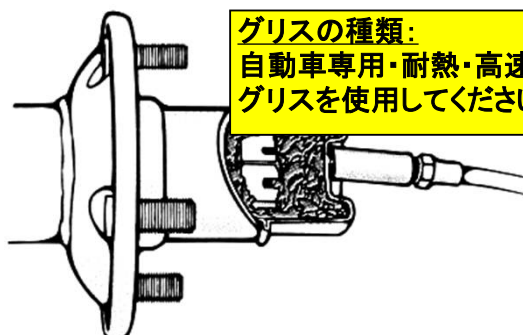


- 1: ベアリング等を組み付けた後、ナットをレンチで強めに締めこむと、ベアリングがカラ-と密着し、ハブが回らなくなる。次に、レンチでナットを1/8回転ずつ戻しながらハブが軽めに回る位置で、なおかつハブがガタつかない位置を探る。アクスルナットスリットにコッターピンを上方向から差込、輪の逆部分を正面に曲げ、ハンマー等でスピンドルに密着させるベアリング外周部分にもグリスを充填し、ベアリングプロテクターを打ち込む。ベアリングプロテクターにグリスガンでグリスを充填しタイヤを取り付け終了。

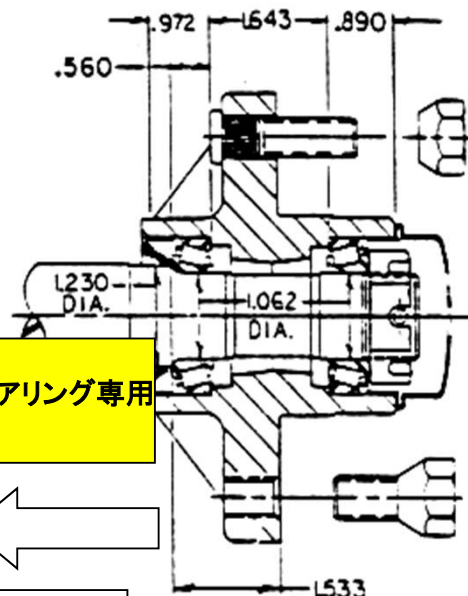
注意

- 1 ベアリンググリスは、自動車専用を使用すること
- 2 アクスルナットの調整で、良い位置にピンがさせないときは、薄いシム・ワッシャ等で調整
図 ⑦と⑨の間に挿入
- 3 ログボルトの締付トルクは、1ページ参照
- 4 ハブの内部すべてに完璧にグリスを充填することが重要です。

手動式グリスガンにて、必ず充填すること!



グリスの種類:
自動車専用・耐熱・高速回転用のベアリング専用グリスを使用してください。



ログナットの取付け方向に注意

BT-150A